一般質問

議案以外の市政全般に関する質問を一般質問といいます。
18名の議員が行った一般質問のうち、主な質問と答弁の要旨を掲載しています。

新しい翼

跡部 薫 議員

問 策定中の仙台市基本構想・基本計画に、行革の取り組みと財政指針を盛込み、具体的な都市像・未来像を描くべき。

答 市民協働・事業の重点化等により基本構想に示した目指すべき都市像を実現する。

その他の主な質問項目
○「地域の足」確保の取り組み
○歩行中・自転車走行中の携帯音楽プレーヤー使用による危険性の防止
○ゲリラ豪雨対策における都心部等の対象地区の重点化

10月1日から29日まで太白区青山地区と長町駅を結んで運行した実験バス「青山くん」

岡部 恒司 議員

問 学都・仙台らしいイベントの企画や参加の促進など若者の力を生かしたまちづくりへの取り組みについて伺う。

答 社会活動の機会を拡げ、自発的な活動を結びつけるような取り組みを行ってまいりたい。

その他の主な質問項目
○次回のデスティネーションキャンペーン誘致の取り組み
○低入札のさらなる改善に向けた入札制度関係課の一元化
○松くい虫の防除と学校林保全ボランティア等への支援

鈴木 勇治 議員

問 中心部商店街の活性化は、中心部の魅力を広く発信する情報戦略が重要である。積極的な取り組みを求める。

答 さまざまな媒体を活用し、中心部の情報を広域的に発信していくため、必要な支援策を検討してまいりたい。

その他の主な質問項目
○地域主権改革と市長の考え
○予算編成過程の公開
○土砂災害警戒区域の観測
○都市計画道路の見直しと対象地域への説明責任
○東西線事業の国の予算要求

民主クラブ仙台

安孫子 雅浩 議員

問 健康増進センターの見直しは利用者の理解の上で。

答 今後の活用方法等について鋭意説明していきたい。

問 農は国の基本。本市農業の振興と地産地消の推進を。

答 今後も農業振興施策全般の充実に努めていく。

その他の主な質問項目
○地域包括支援センター業務の見直しと入所系施設整備
○仙台カップサッカー大会に東北代表チームの復活を
○中国長春市友好三十年の絆

市民への説明責任が問われている健康増進センターのプール

村上 一彦 議員

○高齢者等の公営住宅利用の福祉枠設定の積極的活用を
○散歩介護が訪問介護費の支給対象となり得ることについて事業者等に周知を
○家具運搬や雑草からバイオエタノールを抽出する業者等の一般廃棄物処理業許可
○敬老乗車証見直しで、増加するカード作成のために新規導入する機械の不必要性
○本市指定金融機関は地域密着型金融機関に変更を
○みやぎ環境税の本市還元率

改革フォーラム

大泉 鉄之助 議員

問 期待の高さに応えきれなかった印象の奥山市政が二年目を迎えた。今の政治家には次の時代を見据え、一時の批判や不評を恐れず対処する気概と勇気、信念が求められる。市長の識見と力量に期待し、改めて任期二年目以降に立ち向かう決意と所見を伺う。

答 まずは私自身が先頭に立って市役所自身の自己変革を断行する決意であり、仙台の新たな発展に向けた各般の施策を力強く実行していく。

鈴木 繁雄 議員

問 本市が誇るべき「杜の都」の美しい景観を守り育むために、道路拡幅といった街路事業実施時などを絶好の機会ととらえ、地権者の皆様と景観協定を結び良好なる景観形成を図るべきだ。いかがか。

守り育みたい杜の都の美しい景観

答 市民の協力をいただいて効率よく景観形成を確保する上で有効な手段と認識しており、前向きに対応したい。

その他の主な質問項目
○広瀬川の景観活用について
○危険な歩道橋への対応策を

斎藤 範夫 議員

問 健康増進センターの温水プールを廃止し、旭ヶ丘に温水プールを整備するとのことだが、健康福祉局は民間施設と競合すれば廃止、市民局は民間施設との競合など気にせず地元の要望があれば作るという。これは市政運営のダブルスタンダードではないか。

答 偶然的な要素はあるものの、同じ時期に二つの話を進めたことで理解しにくい印象を与えてしまった。今後十分な説明を行ってまいりたい。

公明党

小野寺 利裕 議員

問 近年、ゲリラ豪雨が増加している中、本市の雨水対策事業を、整備効果や必要性の検証も含めて、今後どのように推進していくのか伺う。

答 浸水安全度や整備効果の検証により、整備地区の重点化や効率化に努めるとともに、さまざまな手法を活用し被害を減らす取り組みを進める。

その他の主な質問項目
○児童虐待をなくす対策
○子どもの歯科矯正への補助
○国勢調査実施への取り組み

鎌田 城行 議員

問 アエル期日前投票所のように県内すべての市町村を対象とする投票所の設置が可能か県と事務調整を図れ。

答 法的には可能だが、困難と思われる。県選挙管理委員会等で話題にしたい。

その他の主な質問項目
○地球温暖化防止対策の検証
○投票所入場券の改善

一般質問 審議の概要

○出口調査の問題
○投票所の車椅子の配置改善
○開票事務の改善
○電子投票制度の検討

鈴木 広康 議員

問 二元代表制により選ばれた首長として、加速する地方分権にどう取り組むか。

答 議会と一定の緊張関係を保ちながら、ともに地方分権の推進に取り組んでいく。

その他の主な質問項目
○仙台市の都市経営
○保育料負担軽減制度の拡充
○認可保育所等設置条件の緩和とガイドラインの作成
○高齢者見守りネット構築を
○地域包括支援センターの課題
○防災公園の整備

防災公園の整備が期待されるあすと長町地区

日本共産党

すげの 直子 議員

問 本市の図書館数は政令市中一番少ない。強い要望がある太白区中田に早急に設置し、目標も決め増やすべき。

答 図書館利用のあり方の変化なども踏まえ、増設も含む充実策のあり方を検討する。

充実が求められる図書館（市民図書館）

その他の主な質問項目
○司書資格を持つ図書館職員の比率を高め正職員化せよ
○減らされている図書資料購入費を増やし資料の充実を
○図書館に指定管理者制度はなじまない。導入はやめよ

花木 則彰 議員

問 地方自治法に基づく地域自治区、地域協議会は、行政への権限を持ち、地域実情に合った税金使用の住民合意形成の受け皿となる。大都市であっても、地域が輝き住民自治が育つまちとなるために、その設置を求める。

答 本市の住民自治の進展等を考えると、慎重な検討が必要である。地域における合意形成のあり方など協働のまちづくりに向け検討を進める。

社民党

相沢 和紀 議員

問 大規模駐車場出入口周辺の安全対策、渋滞緩和策を。

答 関係機関と協議・役割分担を行いながら、バスの定時運行、乗降客や歩行者の安全確保に取り組んでいきたい。

問 自然災害発生時、市独自情報発信の強化と工夫を。

答 防災行政用無線の活用等総合的に研究したい。

その他の主な質問項目
○景観を意識したまちづくり
○津波警戒区域の見直しを
○周辺部市道の幅員拡大を

電力ビル前の混雑状況

石川 建治 議員

問 健康増進センターの見直しに当たっては、説明会等を開き、納得の上で最善策を実行する努力を行うべき。

答 説明が十分ではないとの指摘を重く受け止めており、今後利用者説明会を開催し、市民の皆様にご理解いただけるよう努めてまいりたい。

その他の主な質問項目
○市政運営への基本姿勢
○買い物難民の認識と実態把握
○買い物難民への今後の対応策
○（仮称）交通基本条例制定

改革民主

横田 匡人 議員

問 東西線開業を見据えたバス路線の再編には、路線縮小への懸念など地域住民の不安がある。どう取り組むか。

答 地下鉄駅へバスを結節させるフィーダー化を基本とし、市民の皆様のご意見等もいただきながら平成二十五年度を目標に計画をまとめたい。

その他の主な質問項目
○新総合計画中間案について
○地方自治の原点と「市民力」
○せんだい都市交通プラン
○IC乗車券の導入計画

バス停との交通結節により利便性の高い地下鉄長町南駅

無所属

西澤 啓文 議員

問 敬老乗車証制度見直しでは不正乗車防止を徹底し、乗車証の更新手続きの簡便化等利用者の負担軽減に配慮し、その制度内容等についても市民の理解を得る努力をすべき。

答 指摘された点を踏まえ、具体的な手続き等について、市民の理解を得られるよう、より丁寧な周知に努めていく。

その他の主な質問項目
○廃止予定の都市計画道路の先行買収用地を地域の集会所等へ有効利用すべき

都市計画道路の先行買収用地を有効活用した駐車場

菅原 健 議員

問 地下鉄東西線沿線のまちづくりの取り組みに向けた市長の決意を伺う。

答 開業後の都市の姿を見据え、さまざまな主体との協働による魅力的なまちづくりの実現に向け、取り組んでいく。

その他の主な質問項目
○荒井地区への集客力のある施設等の立地促進
○高速バスターミナルとしての荒井駅周辺地区の活用
○卸商団地のまちづくり支援
○東西線開業後のバス路線再編

開業後の都市の姿を見据えた魅力ある地下鉄東西線沿線のまちづくりを

答 市民局・教育委員会を所管

市民教育委員会

付託された議案番号（第109・111・113号）
〈付託議案審査〉
付託された三議案は、すべて全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

問 耐震診断で改築が必要とされた市民センターは何施設あるか。

答 建て替えが必要と判断されたのは八施設。うち二施設の改築が終了し、二施設が建築工事と設計に着手している。残りの四施設も順次改築の準備に着手したい。

問 建築後四十年以上経過している学校施設は、計画的に順次改築していくことが必要ではないか。

答 日ごろの点検結果を踏まえ、校舎の状況についてさまざまな観点から検討を行い、補修、改築、建て替えの対応を図ることから、必ずしも建築年次の順にはならないと考えている。

経済環境委員会

付託された議案番号（第110号）
〈付託議案審査〉
付託された生活改善センター条例を廃止する条例については、全会一致で可決すべきものと決した。

問 農業を取り巻く状況が厳しい中、農山村地域への支援の充実が必要で、農山村の地域資源をどう生かすか、これからの仙台の施策の中できちんと議論しなければいけないと考えるが、生活改善センターを廃止するに当たり、このような課題についてどう考えるか。

答 当センターは、設置した後の経済情勢の変化や生活環境の整備等に伴い、所期の目的は達成したと考えている。一方、地域の集会所として利用いただいている実態もあり、引き続き地域の集会施設として利用いただきたいと考えて、譲与することとした。

委員会に付託された議案番号を、各常任委員会名の隣にまとめて記載しています。また、各議案名については、８面の会派別議案等賛否一覧表をご覧ください。

常任委員会 審議の概要

平成22年9月17日開催
（総務財政委員会は9月22日、健康福祉委員会は9月21日も開催）

総務財政委員会

付託された議案番号（第103・119・120号）
〈付託議案審査〉
付託された三議案のうち、第百三号議案は賛成多数で、他の二議案は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

問 先行実施した徴収部門に加え、課税部門も本庁に集約し、税務業務を本庁に一元化するとのことだが、なぜ必要なのか。

答 社会情勢の変化に合わせ、専門性の高い税制改正が度重なっていることや、人員配置の最適化、市税収入確保などの観点から、必要なものと考えている。

問 バス・地下鉄の磁気カード印刷機購入に対する補正予算を、どのように精査したのか。

答 敬老乗車証制度の見直しに伴い交付枚数が大幅に増えるための必要な措置と判断した。

健康福祉委員会

付託された議案番号（第103・104・106・議第11・12号）
〈付託議案審査〉
付託された五議案のうち、第百三号議案および第百六号議案は賛成多数で、第百四号議案は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。議第十一号および議第十二号は賛成少数で否決すべきものと決した。なお、第百三号議案については、賛成多数で附帯意見を付けることに決した。また、第百六号議案に対する附帯意見については、賛成少数で否決された。

問 敬老乗車証制度の改正の内容や必要性について、利用者等に十分な説明を行い、理解をいただくことが必要ではないか。

答 パンフレット等を活用し、丁寧な説明を行ってまいりたい。

〈その他の質問事項〉
○健康増進センターのプール廃止

都市整備建設委員会

付託された議案番号（第103・107・108・112・114号）
〈付託議案審査〉
付託された市営住宅条例の一部を改正する条例ほか四議案のうち、第百三号および第百八号議案は賛成多数で、他の三議案は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

問 鹿野市営住宅の廃止の理由を伺う。

答 老朽化に伴い現在地での建て替えが困難なため廃止するものである。

問 跡地はどのように活用するのか。

答 関係部局で公共的な利用について調整協議をした上で、利用方法を決めていきたい。

〈泉区からの報告事項〉
○泉区高森地区における宅地陥没事故について

公営企業委員会

付託された議案番号（第105号）
〈付託議案審査〉
付託された平成二十二年度仙台市高速鉄道事業会計補正予算（第一号）は賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決した。

問 敬老乗車証の磁気カードを印刷する新しい機械をこの時期に購入しても、耐用年数が終わる前にICカードに切り替わるわけで、もったいないのではないか。

答 今使用しているカード集中発行装置二台のうち、一台は老朽化がひどく、故障すると必要枚数を発行できなくなるので、リスク管理の観点から購入を判断した。

〈その他の質問事項〉
○仙台北部中核工業団地に延伸したガス導管による供給の状況
○大倉ダムの貯水率の回復状況
○市営地下鉄の冷房車の導入状況

用語解説

本文中に青文字で表記した用語を解説しています。

●フィーダー化（注1）（五面三段）
住宅地などから最寄りの鉄道駅に接続するような路線バスを運行すること。路線バスと鉄道を乗り継ぐことで、速く時間通りに目的地へ行くことができるようになる。本市が目標とする公共交通を中心とした交通体系の構築に向けた議論の中で検討されている手法。

●国際産学連携フェロー制度（注2）（六面二段）
将来的な本市への海外企業や研究機関の立地実現に向け、海外の企業や研究機関と多くの接点を持つ大学等の研究者を「国際産学連携フェロー」に委嘱し、海外企業等に対する本市のPR活動や、海外の研究機関等を誘致するための情報収集等を行ってもらう制度。

●ICT環境整備（注3）（六面五段）
文部科学省による学校施設改善事業の一つで、事業名は情報通信技術（Information and Communications Technology）に由来。主な事業内容は、学校へのデジタルテレビや電子黒板などの整備。

●鳥取方式（注4）（六面五段）
NPO法人グリーンスポーツ鳥取が提唱している学校の校庭などの安価な芝生化の方式。

●伊達武将隊（注5）（七面二段）
伊達政宗など仙台ゆかりの八名の武将等に扮して、演武と呼ばれる迫力あるパフォーマンスや写真撮影などを行って、仙台の観光をPRするおもてなし集団。厚生労働省の緊急雇用創出事業として八月一日に結成された。

●コミュニティサイクル（注6）（七面四段）
共用の自転車を通常のレンタサイクルのように借りた場所に返すだけでなく、他の駐輪場（サイクルポート）でも借りたり返したりすることが可能な公共交通システム。